

『四万十川の現在と未来 水と生き物の再生に向けて』

小松 正之 編著



【内容紹介】

自然の力を活用した四万十川再生に向けた提言!!

日本最後の清流と称される四万十川だが、その美しいイメージとは裏腹に水質悪化は年々進行している。

傍観は許されない状況に対して、科学的調査により現時点での水質汚染の実態を明らかにするとともに、Nature Based Solutions (NBS) という自然の力に基づいた水資源・自然再生技術を紹介する。

出版社：雄山閣

<https://www.yuzankaku.co.jp/>

初版年月日：2025年1月25日

発売日：2025年1月25日

価格：3,080円

【目次】

- ・『四万十川の現在と未来』に寄せて
- ・はじめに
- ・NBS: Nature Based Solutions 自然力活用の生態系再生
- ・四万十川の現在と将来 — 科学調査で見た四万十川の姿とは
- ・四万十川の歴史と風土と人びとの暮らし
- ・トンボから見た四万十川の自然
- ・座談会「四万十川の現状と具体的改善策」
- ・四万十川調査報告書（2021年度～2024年度）
 - 2021年3月15～16日 四万十川流域事前調査
 - 2021年8月1～3日 四万十川の環境科学調査
 - 2021年11月7～10日 四万十川河川環境科学調査
 - 2021年11月7日 仁淀川河川環境科学調査
 - 2022年3月12日 四万十川河川環境科学調査：家地川ダム（佐賀堰）と津賀ダム
 - 2022年3月13日 四万十川の河川環境調査四万十川下流
 - 2022年3月13～14日 四万十川の河川環境調査：
中筋川、広見川と四万十川・窪川地区

2022年7月3日 四万十川の河川環境調査： 四万十川・窪川地区

2022年7月4～5日 四万十川の河川環境調査： 四万十川下流域と西土佐地区調査

2022年11月14日・16日 四万十川中流域調査： 津賀ダムと窪川地区

2022年11月14日・16日 四万十川下流域調査

2023年2月28日 四万十川下流域と2月27日 窪川地区

2023年2月27日～3月1日 四万十川の環境調査：

津賀ダムと梶原川調査並びに高知県・四国電力の会合記録

2023年8月4日・5日 四万十川シンポジウム

2023年8月4日（金） 四万十市・5日（土） 四万十町で開催

2023年8月5日 公益財団法人トンポと自然を考える会との会合

2023年9月12日 四万十川下流域と西土佐地区の水質環境調査：

トンポ王国訪問を含む

2023年9月11日と13日 津賀ダム調査と四万十川窪川地区調査

2024年1月15日～17日 四万十川中流域窪川地区、佐賀堰の調査

2024年1月16日 四万十川下流域と黒尊川、西土佐地区広見川、奈良川と三間川調査

・おわりに

【著者紹介】

小松正之(こまつ まさゆき)

1953年岩手県生まれ。水産庁参事官、独立行政法人水産総合研究所理事、政策研究大学院大学教授等を経て、一般社団法人生態系総合研究所代表理事、アジア成長研究所客員教授。FAO水産委員会議長、インド洋マグロ委員会議長、在イタリア日本大使館一等書記官、内閣府規制改革委員会専門委員を歴任。鹿島平和研究所「北太平洋海洋生態系と海洋秩序・外交安全保障に関する研究会」主査、「天然循環水とNBS研究会」主査、「スウェーデンと日本気候変動協力プロジェクト」主査。日本経済調査協議会「第三次水産業改革委員会」委員長、「新海洋生態系捕鯨検討委員会」委員長。2025年4月から「第4次水産業改革委員会」委員長(予定)

著書に『クジラは食べていい!』(宝島新書)、『国際マグロ裁判』(岩波新書)、『日本人の弱点』(IDP新書)、『宮本常一とクジラ』『豊かな東京湾』『東京湾再生計画』『日本人とくじら歴史と文化 増補版』『地球環境 陸・海の生態系と人の将来』『地球環境 陸・海の生態系と人の将来 世界の水産資源管理』『日本漁業・水産業の復活戦略』(雄山閣)、『自然活用の水辺再生プロジェクト2021～2023 年度報告書』など多数。